

白浜レスキューネットワーク通信5月号

〒649-2211 和歌山県西牟婁郡白浜町 3137-8

TEL&FAX0739-43-8981

<http://www.aikis.or.jp/~fujiyabu/nrsv1.htm>

e-mail yabiumi@yahoo.co.jp

理事長 藤藪庸一

郵便振替 00920-6-85589 口座名：白浜レスキューネットワーク
 紀陽銀行白浜支店普通預金 589389 口座名：NPO特定非営利活動法人
 白浜レスキューネットワーク

自殺者救済活動

5月1日～5月31日

電話件数 87件

保護件数 1件

- 24日、夫婦が相談に来た。お金を貸して欲しいという内容だった。

生活自立支援活動

5月1日～5月31日

滞在者数 10人(男性10人,女性1人)

自立0人

自主退所0人

○ゴールデンウィークは、帰省したり、出かけたたりとそれぞれが充実した連休を過ごすことができた。

○先月、共同生活に加わった18歳の男の子は、今までとガラリと生活が変わり、慣れないところも多いが、まちなかキッチンに加わり、仕込みや片付けの仕事をしている。

○まちなかキッチンの惣菜部門で働いている20代の男性が、今月から調理を本格的に担当することになった。レシピの引き継ぎを受けながら、「味が変わった」と言われないよう努力している。

自殺予防活動

・まちなかキッチン

連休もあり、営業日数が少なかったものの、弁当部門、惣菜部門ともに目標の売り上げ個数を達成することができた。また、今月から、少しずつ弁当部門と惣菜部門の間で人を移動させ、弁当と惣菜の壁をなくす取り組みを始め、

まちなかキッチンで働く一人一人が、「弁当の人間」「惣菜の人間」という意識から、「まちなかキッチンの人間」と意識できるようになっていきたいと思っている。

惣菜部門は、今まで調理を補助していた男性が、メインの調理を任されるようになった。一生懸命レシピを確認しながら作っている。

・放課後クラブ「コペルくん」

新年度が始まってから、少ない人数であったが、地域の学童から「夕方から夜までの預りをお願いしたい」といった件や、家庭環境が安定しない子など、特別な事情の子が加わり、新しい形に変わってきている。

・はじめ人間自然塾

先月延期した、隣町にある平和公園への遠足を実施することができた。10名の参加があり、往復15kmほどの道のりを全員で歩いた。現地では、戦時中に使われる予定だった防空壕や兵器などを見学したり、磯で遊んだり満喫した。来月は、早朝の白浜磯探検を計画している。

・少年少女漂流隊

今年度も、地元の小学校でのクラブ活動として「少年少女漂流隊」をもたせてもらうことになり、第1回目は、「カッターを使って鉛筆の芯を全部出す」という企画をした。参加した児童は一生懸命カッターを使って鉛筆を削っていた。



公園に向けて全員で歩いた

・相談電話

3日、10日、17日、24日、31日に行なった。
今月も1人の相談員が休まず電話相談にあたった。